



大阪府教育委員会

こころ
BOOK
2023

KOKORO BOOK 2023

こころBOOKとは?

こころBOOKに掲載されている学校園は、令和4年度「こころの再生」府民運動@スクール表彰で表彰された幼稚園・学校です。頑張っている子どもたちの取組みをみなさんに伝えることで、幼稚園をはじめとする各学校園での生活がこころ豊かになることを期待しています。ぜひ、思いやりや交流につながる活動に積極的に取り組んでください!

《 CONTENTS 》

| | | | | | |
|-------------|---|------------|----|----------|----|
| 豊中稲荷学園宮山幼稚園 | 3 | 寝屋川市第一中学校区 | 4 | 府立旭高等学校 | 5 |
| 府立阿武野高等学校 | 6 | 府立鳳高等学校 | 7 | 府立桜塚高等学校 | 8 |
| 府立寝屋川支援学校 | 9 | 府立野崎高等学校 | 10 | 府立三島高等学校 | 11 |

《 SDGs部門 》

| | | | | | |
|------------|----|-------------|----|----------|----|
| 泉大津市立旭小学校 | 13 | 東大阪市立高井田中学校 | 14 | 府立光陽支援学校 | 15 |
| 府立住吉商業高等学校 | 16 | 府立東住吉高等学校 | 17 | 府立岬高等学校 | 18 |

「こころの再生」府民運動とは?

大阪府・大阪府教育委員会が推進している、大切な「こころ」を見つめ直し、今日からでもできる身近な取組み(7つのアクション)を呼びかける運動です。

大切な「こころ」例えば...

5つのこころ

いのち 生命を大切に

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

7つのアクション



「あかんもんはあかん」とはっきり **しかろう**



「ええもんはええ」とはっきり **ほめよう**



「ユーモア」を大切にしよう



「あいさつ」をもっと大切にしよう



「おかげさんで」をもっと大切にしよう



子どもの話をじっくり **聞こう**



地域にどんどん **出ていこう**

「こころの再生」グッズ

※のぼり・ビブスは希望のあった学校全てに配っています

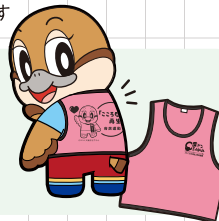
ポスター

「こころの再生」府民運動推進月間の11月には、駅などにも貼りだします



ビブス

ショッキングピンク!これを着れば明るい気持ちになれるかも!? 交差点でもめだちます



のぼり

優しいもも色 元気にあいさつをすることを意識してみよう



保護者の皆さまへ

7つのアクションの中の1つに「子どもの話をじっくり聞こう」とあります。子どもをはっきりと「ほめる」「しかる」ためには、まずは子どもの話をじっくり聞くことが重要です。また、子どもと「ユーモア」を共有する、「おはよう」とあいさつをする、地域と交流する、「おかげさんで」と感謝の気持ちを伝えるなど、全てのコミュニケーションに「話を聞く」ことは不可欠です。「こころの再生」府民運動では、「子どもの話をじっくり聞こう」のような、日常では忘れてしまいがちな大切なことを伝え、できることから取り組むことを呼びかけています。「こころの再生」府民運動ホームページを訪れていただき、大切な「こころ」について考えるきっかけにいただければ幸いです。



ゆりやんレトリィバァさんから こころのメッセージ

◎ ゆりやんさんの学生時代

中学校3年生の 때가、実は一番楽しくなかったんです。中学校のときにいじめられていて、学校も行きたくないな、楽しくないなって思っていました。その時は、嫌なこととか言うてくる人がいても、絶対お笑い芸人になってテレビとかに出て、見返したいっていう気持ちを持っていました。

高校生になって、とにかく嫌われたくないって思いと、自分も人に嫌な思いさせたくないって思いで、「おはよう！」って全員にあいさつをしていました。**あいさつをしなかったら嫌な気持ちになる人はいるけど、あいさつをされた嫌な気持ちになる人はいない**と思います。高校では、全員にあいさつして、みんなからゆりやん、ゆりやんって知ってもらっていました。ひとりでぼつんとしてる子がいたら、こっち来る？とか、何してるの？とか一緒に声をかけられるようなところを開ける友達とも出会えました。

◎ 芸人の先輩方との出会い

芸人になった初めのうちは、いじめた人たちを見返したいっていう気持ちをまだ持っていました。でも、今はそういう気持ちはなくて、**人を見返すためにやるより、自分が楽しく、自分は自分、と生きてるほうが良いと思える**ようになり、最初の頃の気持ちとは変わってきています。

芸人の先輩方とも話をして、自分が幸せに生きたほうが良いのかなとか、ネガティブな気持ちをバネにするんじゃなく、ポジティブな気持ちでお笑いをするほうが良いと思えました。自分が前向きな気持ちになれる環境にいられるのは、とてもありがたいことだと思っています。

◎ ゆりやんさんが大切にしているところ

信じるところです。自分をもって意味なんですけどね。本当に強く思ったら、良いことも悪いことも絶対叶うと思っています。子どものころから芸人になりたいって、疑いもなくずっと思い続けていました。

例えば、「サインください！」って言ってもらっている自分を絵で書いて、芸人になれるとしか思ってなかったですね。ちゃんと強く思ったことは、良くも悪くも絶対に叶うんです。だから芸人になりたいな、でも無理やろうけど、なりたくなって思ったら、無理なほうになっちゃうんですよ。なれるって思って、なりたい、なれる、なるなる、って強く思ったらきっと叶うと思うんです。何か失敗して、なりたいたいものになれなくて、そこで挫折してしまったら人生もったいないと思うんですよ。それでも、もしなりたいたいものになれなかったとしても、なれなかったからこそ、なれるものがあると思うのであきらめないでほしいですね。

◎ 大阪の子どもたちへメッセージ

やりたいこと、興味があることをとにかく見つけて、人が何を言おうともやりたいって気持ちを信じてほしいです。**嫌なことがあっても、すぐにいいこともめっちゃ起きるんで、一人で考えずに誰でもいいから思ってることを話してほしいですね。**

今はしんどいって思っちゃうこともあるかもしれないけど、嫌な思いをしたほうが後で、なんか、僕も私もこういうことがあったからって、なんかそれがきっかけでいいほうに進んでいくんで、絶対に大丈夫って伝えたいです。**落ち着いていきやー！**



プロフィール

ゆりやんレトリィバァ

吉本興業株式会社所属

2013年 NSC大阪校 35期生

趣味：映画鑑賞、書道、ダンス、水泳、ピアノ、

似顔絵を描く


特技：英語、ダンス

幼稚園紹介

「未来の文化と社会を創造する主役は子どもたちである」このことを念頭におき、子どもたちが、ともだちとの関わりの中で、それぞれの個性を互いに尊重し、相手を思いやる想像力や自身の考えを自由に表現できる豊かな創造力の基礎を身につけることを宮山幼稚園ではめざしています。また、当園は豊中市より、稲荷山風致地区に指定されており、四季折々の変化を実感し触れることのできる古くから育まれた木々に囲まれています。



取組み紹介

 「あいさつ」をもっと大切にしよう

5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

オアシスエデュケーション ～あいさつでつながる場所～

10年以上にわたり行っている「オアシスエデュケーション」は、あいさつや思いやりを通じて、子どもたちの心が豊かになることをめざした取組みです。

「オアシス」の頭文字〈オ〉おはよう(大きな声で元気よくあいさつする)、〈ア〉ありがとう(感謝の気持ちを大切に)、〈シ〉親切(思いやりの心を持つ)、〈ス〉すみません(素直に自分の想いを伝える)、この4つを大切にすることで、人と人が仲良くつながりあえます。また、相手の気持ちを考え、自分の気持ちを伝えることで子どもたちのコミュニケーションが深まります。

他にもオアシス運動では、教職員が毎朝、門で園児を迎え、保護者と子どもたちに元気にあいさつをしています。子どもたちも自分から元気に気持ちの良いあいさつを返してくれます。これからの取組みを通して、子どもたちが良好な人間関係を築くための土台を育て、相手を思いやる想像力と優しい心をもった大人になれるように取り組んでいきます。



・あいさつをすると、二こころがあたりました。
・おともだちになにかあったら、すみませんといおうとおもいました。



・いろいろなひとにしんせつにしようとおもいました。
・あやまらないといけないときは、すなおに「ごめんなさい」ということをたいせつにしようとおもいます。



・これからもあいさつをがんばろうとおもいました。
・「おあしす」をだいにしたら、うれしかったり、あたたかい気持ちになります。



寝屋川市第一中学校区

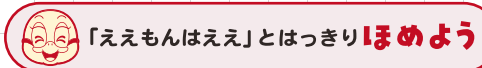
住所 〒572-0847
寝屋川市高宮新町32-1 (第一中学校)

学校紹介

寝屋川市立第一中学校は、市内中心部に位置する創立76年を迎える伝統ある中学校です。校区には創立150年の東小学校と寝屋川市駅に最も近い中央小学校があり、街の学校「スクールネットワーク」として小中一貫教育を地域とともに進めています。教育改革の流れの中で生徒一人ひとりの個性を生かしながら、互いの良さを認め合い、思いやりとコミュニケーション力をもつ『キラリ輝く一中生』を合言葉に様々な取り組みを行っています。



取り組み紹介



5つのところ

いのち
生命を大切にす

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

街の学校SN(スクールネットワーク)校区サミット

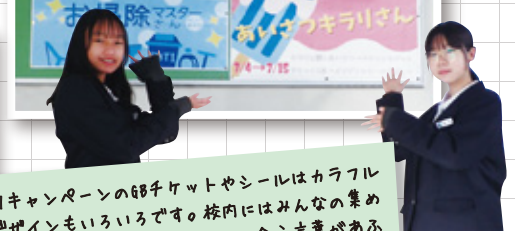
年に数回、第一中学校生徒会と校区の小学校2校(東小・中央小)の児童会が連携して校区サミット会議を開催し、活動報告や意見交換を行っています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現在は各校で取り組んでいます。中学生が校区の各小学校の校門で「あいさつ運動」に参加したり、中学生が小学校に出向き「たばこの害などについて」等の出前授業を実施したりするなど小中学校の交流を行っていました。



キラリと輝く一中生「PUT1」

生徒会を中心に、「わたしをキラリ」(自主自立)・「あなたをキラリ」(思いやり)・「みんなでキラリ」(コミュニケーション)を3つの柱に掲げ、「PUT1」(ポジティブ・アップ・チーム1)に取り組んでいます。互いの良さを見つけてほめ、認め合いの一環として、GB(Good Behavior)チケットに自分の言葉で記入したものを、生徒間、教員間、教員と生徒間で渡し合う取り組みを行っています。取り組みを推進するシールやバッジのデザインを制作して、あいさつの輪をひろげたり、生徒の校内美化意識を高めたりすることにつながっています。



PUT1キャンペーンのGBチケットやシールはカラフルでデザインもいろいろです。校内にはみんなの集めたチケットが貼られた掲示物、ほめ合う言葉があふれていて、学校全体が楽しく明るい雰囲気!!

チョボラ隊活動

地域一斉清掃活動や緑化・栽培活動、中学校区内の神社のお祭りのサポート等を行う「ちょっとボランティア」の募集を生徒が呼びかけ合い「チョボラ隊」として活動に参加しています。中学校区内にある「八坂神社」の秋祭りでは、地域の方々とともに神輿を担ぎ、年末には干支の絵馬を制作して奉納も行っていきます。

3年ぶりに地域のお祭りが開かれてうれしかったです。チョボラ隊は「子ども神楽」を担いで地域をみんなで歩きました。大人も子どもも一緒につながる行事は楽しい、もっと笑顔の輪が広がるといいな!



学校紹介

大阪府立旭高校は、昭和27(1952)年に設立された第48番めの府立高等学校です。平成4(1992)年には普通科に加え国際教養科を設置しました。そして、令和3(2021)年、いっそう多文化理解教育を推し進めるため、国際教養科を国際文化科とし、より魅力ある教育内容に取り組んでいます。生徒は校訓の「自主自律 協調友愛」を胸に、日々学習に取り組み、素晴らしい伝統を受け継ぎながら、自分たちで学校行事や部活動に新しい歴史を刻み続けています。



取り組み紹介 子どもの話をじっくり聞こう

5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

ボランティア参加で、 地域の子どもたちと交流!

本校の保育関係を志望する有志の生徒がボランティアとして、旭区のNPO法人子どもセンターあさひが主催する「第6回みんなのおまつり」のイベントに参加して、地域の子どもたちと交流しました。

イベントには、これまでのコロナ禍で地域の交流ができなかった800から1000人規模の子どもたちと保護者が参加し、近郊の学校や大学、地域のお店も参加協力するなど大規模なお祭りとなりました。

生徒たちは、イベントの運営・受付・誘導を担当して、参加者と子ども向けのあそび歌やダンス、絵本の読み聞かせを行いました。

今回のイベント参加をきっかけに、地域の小学生を対象とした学習ボランティアへの参加を積極的に行っていく予定です。



子どもがすごく好きなので、いろんな子どもたちと触れ合うことができ、すごく癒されました。想定外の忙しさで大変でしたがその分やりがいを感じることができました。



思っていたよりたくさんの方の行列ができて、効率よく進めるのが最初は難しかったけれど、小さい子と関わらせて、楽しかったです。何より楽しそうにスーパーボールすくいをして「ありがとう」と言ってくれるのがすごく嬉しかったです。

子どもたちと触れ合い、直接話したりできて、とても楽しかったです。いろんな子がいて、いい経験になりました。小さい子と関わる機会が最近減っていたので、嬉しかったです。

府立阿武野高等学校

住所 〒569-1141
高槻市氷室町3-38-1

▶ 学校紹介

大阪府立阿武野高校は全日制普通科の学校で、「つながり」「ぬくもり」を大切に、生徒が主役の「ときめき」あふれる学校です。知的障がい生徒自立支援コースを設置し、「ともに学び、ともに育つ」教育を推進しています。2年次より文系、理系、スポーツ専門コース、福祉・保育コースを選択することができ、多様な進路に対応しています。令和5(2023)年度より、島本高校と機能統合し、設置コースはそのままに、よりパワーアップした阿武野高校に生まれ変わります。



▶ 取組み紹介

 「おかげさんで」をもっと大切にしよう

5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

~ ところを届けよう! ~中庭ライブ×募金活動~

令和3年度から、「何かみんなのところが落ち着き、あたたまることができないか」という思いで、これまで軽音楽部の生徒たちが10年以上行ってきた昼休みの中庭ライブをリニューアルし、他の部活動や生徒会と協力し、募金活動とあわせて実施しています。今年度は、集まった募金をユニセフのウクライナ支援に寄付しました。

軽音楽部のライブでは、昼休みのひとときをバンド演奏で楽しませてくれました。ダンス部のパフォーマンスはいつも圧巻で、私たちに元気を届けてくれます。吹奏楽部の演奏は柔らかく、私たちの心を和ませてくれます。観覧した生徒たちは、とても喜んで大きな拍手を惜しみなく贈り、生徒や教職員も大いに盛り上がるハートフルな催しとなりました。

また、募金活動は、事前学習を行うことにより、本校の生徒が社会の一員として社会貢献する良い機会になっています。



運動部にも負けない熱い気持ちで演奏しています。いろんな人が僕たちの演奏を聴いて、楽しんでもらえたらと思います。



町をきれいにして、さわやかに地域交流!

~クリーンキャンペーン~

本校では、30年以上、学校周辺を4区域に分けて地域清掃を行うクリーンキャンペーンを地域の方々と協力して行っています。

生徒たちにとって、地域・保護者の方々とのかわりを大切にする気持ちや、地域の一員として町の環境問題を学び考えることにつながっています。



地域の方々とお話ししながら活動しました。「ありがとう」と言ってもらえて、とてもうれしかったです。



学校紹介

本校は、令和3(2021)年度に創立100周年を迎えた歴史と伝統のある学校です。旧制鳳中学校の綱領「誠実・剛健・進取」のもと、伝統を受け継ぎながら新たな取組みにも積極的にチャレンジしています。約10年前には府内でも珍しい全日制普通科単位制のシステムを取り入れ、生徒が多くの授業を自ら選択できるようになりました。自分で作った時間割だからこそ、いっそう熱心に学習することができます。鳳高校は、将来なりたい自分に出会えるよう生徒一人ひとりを全力で応援します。



取組み紹介

 「あいさつ」をもっと大切にしよう

5つのこころ

いのち
生命を大切にす

思いやる

感謝する

努力する

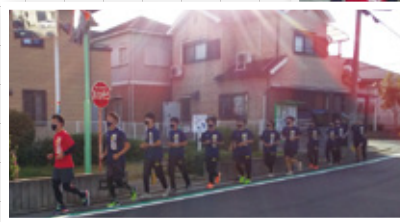
ルールやマナーを守る

命を守るランニングパトロール

陸上部の生徒が西堺警察署の警察官と一緒にランニングパトロール(防犯の視点をもってランニングを行う防犯ボランティア)を行い、地域の小学生の安心・安全な登下校のサポートをしています。パトロール中、登下校中の小学生が元気にあいさつをしてくれます。お互いにあいさつをして、声をかけあうことも防犯の重要な取組みです。



パトロールを行ったことで、地域に貢献することができたと思います。小学生が元気にあいさつを返してくれて嬉しかったです。



小中学生とのスポーツ交流

ハンドボール部の活動に本校周辺地域の小学生、中学生を土日、祝日に招待し、一緒に練習を行っています。交流活動を通じて、地域の子どもの「心の面」や「体の面」の健全な育成を目標にしています。本校の部員も毎回楽しみにしており、人間としての更なる成長のきっかけとなっています。

年齢、性別に関係なく、技術を磨けば楽しみながらレベルの高いプレーができるのだと教えられました。



国際ボランティア部の募金活動

国際ボランティア部がウクライナ避難民支援のため、JR鳳駅前前で募金活動を行っています。あいさつをしながら募金を呼びかけることで、多くの方が温かい声を掛けてくださり、募金をしていただいています。

ペットボトルキャップ回収、インクカートリッジ回収、募金活動など、自分たちができると確実に世界の誰かのためになっているという思いをもって日々活動を頑張っています。

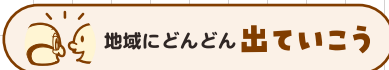


▶ 学校紹介

昭和12(1937)年に高等女学校として開校。のちに大阪府立桜塚高等学校と改称して現在に至ります。「学力UP」「人間力UP」「国際地域力UP」の「3つのUP」を軸に生徒の学びをサポートしています。多くの授業でChromebook等の端末を活用した授業を積極的に展開しています。また、2年生から進路希望に応じてよりレベルの高い学習にチャレンジする「グローバルスタディコース」を導入しています。



▶ 取組み紹介



5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

“社会を明るくする運動” イメージソングの制作

軽音楽部が豊中市保護司会から依頼を受け、“社会を明るくする運動”のイメージソング「ワタシロパレット」を制作しました。

「豊中地区 市民のつどい」で演奏を披露し、作成したCDの配付も行いました。前向きな気持ちになれる歌詞で、聞いている人の背中を押してあげられる曲です。コロナ禍で、人前で演奏する機会が減っていましたが、聞いてくれる人がいる中で演奏する喜びや、支えてくださった人たちへの感謝を改めて感じることができました。

作成したイメージソングを地域で披露し、社会に貢献することで生徒たち自身も成長しています。ワタシロパレットの動画は、豊中市のYouTubeチャンネルで公開されているのでぜひ聞いてみてください。



聞いている人たちに元気な曲を聞いてほしいです。そのために、自分自身も明るい気持ちで歌いたいです。



「ワタシロパレット」はこちらから!



「市民のつどい」で「ワタシロパレット」を演奏しました。多くの人から明るい気持ちになってくれたら嬉しいです。



豊中市の方に「ワタシロパレット」の動画を撮影していただきました。YouTubeぜひ見てください。

府立寝屋川支援学校

住所

〒572-0854
寝屋川市寝屋川公園2100番地

学校紹介

昭和50(1975)年 大阪府立寝屋川養護学校として開校。平成20(2008)年 学校名を大阪府立寝屋川支援学校に改称し、令和6(2024)年で創立50周年を迎えます。寝屋川公園内に位置し、自然豊かで四季のうつろいを感じることできる環境です。本校の教育目標として、一人ひとりの子どもの障がいや発達の状態に応じて、もっとも必要で適切な教育活動の創造に努めるとともに、すべての子どもが助け合い、力一杯伸びていくためのきめ細かい指導の徹底をめざしています。



取組み紹介

 「あいさつ」をもっと大切にしよう

5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

学校・地域に笑顔を！ みんなであいさつ運動

寝屋川支援学校では、毎朝、児童会・生徒会の役員と自主単独通学の生徒があいさつ運動をしています。これは、なんと10年以上も続く取組みです。

自主単独通学の生徒は、あいさつ運動の前に掃除をして、学校をきれいにします。そして、児童・生徒の元気なあいさつで気持ちの良い1日がスタートします。

あいさつを通して、違う学年の児童・生徒との関わりが増えたり、声を出すことが難しくても、笑顔で手を振ったりする姿がたくさん見られるようになりました。あいさつ運動をすることで、人と関わることの楽しさや大切さをあらためて感じ、普段からのコミュニケーションが深まっています。

また、登下校中や校外での活動の時など、地域の人へも積極的にあいさつができるようになり、学校や地域に笑顔が広がっています。

みんなが気持ちよくあいさつできるように、登校前に校舎をきれいにしています。



全員から気持ちのいいあいさつが返ってくるように、元気をだしてあいさつをするなど工夫をしています。



「おはようございます」の看板をつかって、自分たちの気持ちを多くの人に届けました。



みんながあいさつを返してくれるとうれい입니다。普段から自信をもって話せるようになりました。




学校紹介

大阪府立野崎高校は、昭和51(1976)年に第100番めの府立高校(全日制普通科)として創立されました。そして、令和5(2023)年度からは茨田高校と機能統合を行い、「コミュニケーション力の向上」、「地域交流」を発展的に継承し、野崎高校はさらに進化します。「生徒一人ひとりを大切にする学校」、「夢をみつけ、夢をかなえる学校」、「地域と連携し、生徒を育てる学校」として、校訓「自律・自主・創造」を体現する生徒を育てています。



取組み紹介

 **子どもの話をじっくり聞こう**

5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

保育交流 ～いも掘り体験・保育実習～

3年生選択授業「子どもの成長」で保育交流を行っています。5歳児の発達段階について事前に学んだ後、交流の内容を考え企画しました。いも掘り体験では、認定子ども園の子どもたちの話を優しく聞く姿や、掘り方をていねいに教える姿がたくさん見られました。

保育実習では、元気な子どもたちを思いきり走らせてあげたいとの思いから「しっぽ取りゲーム」を企画し、しっぽがとれない子どもに寄り添ってゆっくり走ったり、子どもたちのしっぽを狙う手をうまくかわして逃げ切ったりと、安全に楽しんでもらおうとする思いやりがたくさん見られました。



元気いっぱいと一緒に遊ぶだけで元気が出ました。2回めに行ったとき、名前を覚えてくれていて嬉しかったです。



手話で気持ちを伝えよう

3年生選択授業「社会福祉」では、聴覚に障がいがある人の生活について想像して意見を出し合った後、物事をジェスチャーで伝える体験をしました。また、当事者からのお話を聴いたりすることを通して、「手話で表現して伝えること」について考えました。山・川・谷や物の名前をはじめとし、自分の名前、家族の紹介の仕方、誕生日等自己紹介ができるようになるまで練習し、文化祭では、練習を重ねた「手話コース」を全学年の前で発表しました。



交流の幅が広がり、色んな人と仲良くなるから楽しかったです。



手話は表情も大事だということが分かりました。

フォークソング部中庭ライブ

心地よい季節の昼休みに行われた中庭ライブ。校舎1階から4階の全校生徒に向けてバンド演奏や弾き語りの音楽を届け、とてもあたたかい雰囲気になりました。窓から顔が覗き、手拍子が鳴る。全校生徒による貴重なこころの交流イベントとなりました。




学校紹介

「自主自律」・「文武両道」の精神のもと人生を主体的に切り拓き、社会に貢献することができる生徒を育成しています。もうひとつの校訓である「自由闊達」の精神も踏まえ、すべての教育活動を大切に、生徒の総合力(学力、人間性、生活習慣)を高めるとともに、地域ネットワークを利用したキャリア教育・学校間交流・国際交流を通して、高い志と夢・グローバルな視野を持つ生徒を育てています。



取組み紹介

 子どもの話をじっくり聞こう

5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

小学生とのクラブ交流 ~思いやりから生まれる信頼関係~

三島高校では、地域連携として近隣の高槻市立郡家小学校とのクラブ交流を行っています。本校生徒はもちろん、小学生もとても楽しく取り組んでいます。高校生は小学生に思いやりを持って、ていねいにわかりやすく教え、小学生は高校生の教える内容をじっくり聞く、このことがお互いの信頼関係を築き、さらに技術の向上につながっています。

小学生は「できないと思っていたことができ、とてもうれしい!」と意欲的に取り組んでいました。かるたクラブでは小学生が日々練習を重ねていたので高校生と対等に競い合うことができ、自信につながりました。



小学生とスポーツを通して交流することができ、こころを通わせることができとてもよかったです。



元気いっぱいのパワーあふれる小学生に押され気味でしたが、とてもいい経験ができました。小学生の活気ある姿に元気をもらうことができました。

あいさつはこころのオアシス

本校では、毎朝、教員が各門で生徒にあいさつの声かけをしています。生徒からは元気なあいさつがたくさん返ってきます。朝の急いでいるときでも、立ち止まって気持ちの良いあいさつしてくれる生徒もあり、元気にあいさつをすることで、相手に元気をプレゼントすることができます。

また、「あいさつは心が通う第一歩」というポスターを校内のあちこちに掲示しています。色々な機会であいさつの大切さを伝え、実践することによって、校内のいたるところであいさつが飛び交う学校になっています。



令和4年度から

「こころの再生」府民運動@スクール表彰にSDGs部門を新設しました！この部門では、SDGsに取り組む大阪府内の学校を掲載しています。これからの未来を担う子どもたちが自分たちができることは何なのかを真剣に考えています。未来をよりよくしていくために複雑な社会の課題に向き合い、ときにユーモアのあるアイデアもおりませながら解決を図っています。そこに共通してある「こころ」は、相手の立場になって理解しようとする事、その上で自分たちができる解決方法を考える事、そして実際に行動してみる事です。さあ、みなさんも自分たちができることから始めてみませんか。

「こころの再生」府民運動@スクール表彰
SDGs部門
表彰校

| | | |
|-----------------|------------------|---------------|
| 泉大津市立旭小学校 ……13 | 東大阪市立高井田中学校 ……14 | 府立光陽支援学校 ……15 |
| 府立住吉商業高等学校 ……16 | 府立東住吉高等学校 ……17 | 府立岬高等学校 ……18 |

SDGs (持続可能な開発目標)とは？

SDGsとは、すべての人々にとってよりよい、持続可能な未来を築くための青写真です。貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな諸課題の解決をめざします。SDGsの目標は相互に関連しています。誰一人置き去りにしないために、2030年までに各目標・ターゲットを達成することが重要です。

(出典：国際連合広報センターホームページ)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



学校紹介

泉大津市立旭小学校は、昭和2(1927)年6月1日に創立された歴史ある学校です。508人の子どもたちは、「あ」・・・「あいさつのできる子」、「さ」・・・「最後まで頑張れる子」、「ひ」・・・「人の気持ちを考えられる子」という「あさひっ子の合言葉」を大切にしながら毎日元気に学校生活を送っています。令和4(2022)年度よりコミュニティ・スクールとして新たにスタートし、地域の方々や保護者の皆様とタッグを組んで、ともに子どもたちを育てています。



取組み紹介

 「ユーモア」を大切にしよう

5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

どう考え、どう行動し、どう生きるか ～自分たちで考えるSDGs～

泉大津市立旭小学校では、総合的な学習の中で、SDGsに関する学習に取り組んでいます。まず「SDGsとは何なのか?」について自分なりに調べ、子どもたち同士で交流しました。改めて自分たちの身の回りのことを考えてみると、たくさんの方がSDGsに取り組んでいることに気がきました。

そこで、「みらい応援隊」(コミュニティ・スクールの活動を支援して下さる地域の方々)に引率のサポートをしていただき、泉大津市内の企業・市役所の社会見学を行い、それぞれの取組みを聞きました。実際に行われている具体的なSDGsの取組みの話を聞くことで理解が深まるきっかけとなりました。

そして、「SDGsを進めていくための小学生らしい画期的な取組みを提案しよう!」という目標を掲げ、班ごとにSDGsの取組みについて考え、市役所や地域の方に提案をしました。「公園のトイレを安心・安全に使えるように、きれいにする、防犯システムをプログラミングしたりする」といった小学生らしい、ユニークな提案も聞いてもらい、SDGsについて、自分たちのこととして考えることができました。SDGsの学習を通して、「社会全体がよくなるために、相手のことを思いやり、他者のためにできること」についてこれからも考えていきます。

まわりではたくさんの方が環境のために取り組んでいてとてもすごいと思いました。私自身はあまり考えたりしてこなかったと思うので、そのことについて改めて考え直したいと思いました。



自分の意見を積極的に話しながらグループで話し合いを進めました。自分たちが考えたことを地域の人に伝えることができて、とてもうれしかったです。



他の班の発表を聞いて自分の考え方が大きく変わりました。色々な班が発表したことに自分も取り組みたいし、家で自分の親にも伝えて理解してもらい、SDGsに取り組めたらいいなと思いました。




学校紹介

令和3(2021)年に創立70周年を迎えた本校は、モノづくりのまちの中心に位置し、大きな企業や町工場に囲まれて立地しています。生徒は素直で明るく、先生方との関係も良好でのびのびと楽しく学校生活を送っています。学力面では「主体的に学習できる環境づくり」を軸に、また生徒指導面では「信頼」「自立」「凡事徹底」を合言葉に、当たり前のレベルをより高める取組みをしています。生徒会を中心にボランティア活動に力を入れるなど、日々活気にあふれた学校です。



取組み紹介

「おかげさんで」をもっと大切にしよう

5つのところ

いのち
生命を大切に

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

誰一人取り残さない学校をめざして

1. 校内バリアフリープロジェクト

本校ではどれくらいバリアフリーが進んでいるのか、その状況を調査し、問題点の解決策を考えてみました。

調査は、校内を数か所に分け、班ごとに実際に車いすに乗って通やすさ、通りにくさを体験し、特に通りにくい場所を記録していくことで、普段は何気なく通っている階段やちょっとした段差、スロープでも、車いすで通ると大きな障害になることが実感できました。



僕は、「校内バリアフリー」プロジェクトを通して、ここが車いすですぐ通れるのか、そして、ここを改善すればよいのでは？と思うようになりました。これからは意識して行動に移してみたいです。

いつもは何も感じなかったところを車いすで行ってみると、とても不便で私が思っている以上上でした。そのことを知ったので、困っている人がいたらすぐ助けにいきたいと思いました。



2. SDGs商品開発プロジェクト

SDGsの基本理念「持続可能」「誰一人取り残さない」を形にした商品開発に挑戦しました。タブレットを用いて様々な商品の情報を入力し検討を重ねた結果、開発した商品をご紹介します。

【分別式ゴミ箱】カメラが搭載されており、AIがゴミを識別します。車いすを利用している人や子ども、視覚障がいのある人など、誰でもゴミを分別できるゴミ箱です。

【ブルーライト測定メガネ】ブルーライトカットのメガネはありますが、実際どのくらいブルーライトを浴びているのかを知ることで健康意識を高めることを目的とした商品です。



商品開発は、現実的にできそうか、問題点はないか、どれも使いやすいデザインになっているか、などの細かいところまで考えるのが大変でした。みんなで考えて商品が実際に販売できたら素敵だと思っています。

3. 給食残食減量プロジェクト

令和4年度より、中学校給食が始まった本校でも残食が気になっていました。まず、なぜ残食が出るのか、そして残食が多いことによる悪影響を論議し、皆で共通理解をはかった上で当日から早速改善策を実行しました。取組みや呼びかけにより、一人ひとりの意識が明らかに変わったようです。



友だちと話し合いをしているうちに残食を減らすことがどれだけ大切かがわかったので、スライドを作って発表しました。真剣に話を聞いてくれて、他にも取り組もうとしている人がいると思うとうれしくなりました。これからクラスの人と協力して残食をゼロにしていこうと思います。

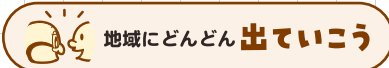


学校紹介

大阪府立光陽支援学校は昭和37(1962)年に開校し、「肢体不自由部門」と「病弱部門」が設置されており、令和4(2022)年度には創立60周年を迎えました。「チーム光陽!つたえる・分かち合う・つながる」を合言葉に「質の高い教育実践」をめざして、児童生徒一人ひとりの「自立と自己実現」に向けて教育実践するとともに、地域社会に対しても「多様性社会の実現」を推進できる学校をめざしています。ポッチャ活動や夏休みイベント等、様々な活動に取り組んでいます。



取組み紹介



5つのところ

いのち 生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

光陽GoGoプロジェクト ~未来の扉を自分で開こう!~

UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)と株式会社ファーストリテイリングがともに取り組み「届けよう、服のチカラ」プロジェクトに参加しました。校内、地域で着なくなった服を回収し、難民などの服を必要とする人々に届けます。

光陽支援学校では、ポスターや宣伝動画を作成して回収を呼びかけ、交流先の学校や地域の方からも服の寄付をうけることができました。そして、てづくりの回収BOXに入れられた服は、児童生徒みんなで協働して仕分けした後、難民キャンプに送られます。

制作活動や宣伝を通じて、友だちと協働する意識が高まり、主体的に意見を発言する場面が増えています。また、取組みによって、生徒たちの世界情勢や難民に対する理解が深まるきっかけとなりました。



服のもつ「力」について学ぶことができ、SDGsの大切さを知ることができました。



服を使って世界の人と繋がれることはすごい事だと思いました。またそれが難民の人々の助けになる事さとても嬉しく思いました。



活動に取り組む中で、友達や先生に自分のアイデアを提案し、採用されたことで、これからもどんどん自分の意見を出していこうと思いました。



▶ 学校紹介

大阪府立住吉商業高校は昭和15(1940)年に創立した、商業科を設置する高等学校です。変化するビジネス社会で活躍する人材を育成するべく、令和4(2022)年度入学生よりコース制を導入しました。自身の進路や興味関心のある学びについて学校設定教科『ライフプランニング』で考え、2年生進級時に『スペシャリストコース』・『観光コース』・『ジェネラリストコース』の3つのコースから一つを選び、専門的な学習・実践を通じて多様な進路と自己実現をめざします。



▶ 取組み紹介

 「ユーモア」を大切にしよう

5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

落書きをウォールアートに変える!

美術部を中心に有志が集まった生徒たちが、10年以上も落書きに悩まされていた地域の集会所の壁を、落書きからウォールアートに変える取組みを行いました。生徒たちは、これまでに経験のない巨大な壁に描く作業に苦心しながら、完成に向けて精一杯頑張りました。

地域の方々から、絵を見て毎日の散歩が楽しみになったという声や落書きからアートスポットになっているという声が寄せられ、生徒への声かけやあいさつも増えました。これからも地域とのつながりを大切に、「感謝をする心」や「ルールを守る心」など、日ごろの行動の積み重ねで育まれるところの育成に取り組めます。



10年前に数十万円もお金をかけて塗り直したにもかかわらず、すぐに落書きされたことを聞いてとてもショックでした。今では、落書きをされることなく、ゴミもとても少ないのでうれしいです。

Let'sマイボトル! ゴミを減らそう!

~どこでも水分補給できる環境に~

本校では、これまで課題研究の授業で取り組んできたSDGsの調査研究をふまえ、「ペットボトルごみゼロ」を目標に、全校生徒で取り組んでいます。

令和4年度は、環境に配慮した観光都市として大阪市住之江区を世界に発信していくため、BRITAJapan株式会社と連携し、海洋プラスチックごみの削減に向けて、全校生徒にマイボトルを配布し、校内に5か所の給水スポットを設置しました。

これからは、学校から地域の取組みに広げ、教育機関で初となる「おおさかマイボトルパートナーズ」への参画や、大阪・関西万博の「TEAM EXPO 2025 共創チャレンジ」への参加を通じて更なる取組みを進めていきます。



マイボトルを持参して水分補給をするだけで、環境にいいことを知れたのは今後の生活が大きく変わるきっかけになりました。SDGsにも興味が出てきたので、ほかのことにも取り組みつつ、毎日続けていきたいと思っています。

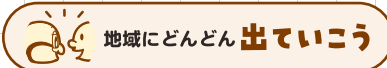


学校紹介

大阪府立東住吉高校は、昭和30(1955)年に開校した大阪市平野区にある高等学校で、現在、普通科、芸能文化科の二つの学科と共生推進教室を設置しています。本校は「二兎を獲る」の理念のもと、知識・技能とそれに基づいた思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を育むとともに、国際交流・ボランティア活動等の自主活動の充実により、人権意識とグローバルな視点を持つリーダーを育成しています。



取組み紹介



5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

気持ちをつなぐ「チャリティーリレーマラソン」

平成19年度から、ボランティア部主催による「チャリティーリレーマラソン」を実施しています。本校のクラブ員有志がボランティアランナーとなってリレー形式のマラソンを走り、同窓会、後援会、PTAの方たちも食べ物などを差し入れるなどして地域全体で取り組んでいます。この活動を応援に来てくださる方や地域の方に対して募金活動を行い、集まった募金は、NGOを通じてネパールやウクライナの子どもたちの奨学金として活用されます。

この募金活動を通じて、学校に通えない海外で困っている子どもたちに思いをとどけ、現地の子どもたちが笑顔になってくれることを願っています。

参加した生徒は、「自分たちの現状を考えさせられた」「国境なき医師団に入りたい」等の感想をもつなど大きな刺激になっています。



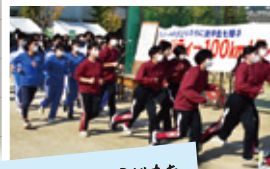
各都活動が団結し、ネパールの子どもたちに向けて走る姿はとても素敵で爽やかな気持ちになりました。



みんなの気持ちを一つにして、ずっとこの活動を続けていくことで、次の世代にもつなげていきたいです。



ネパールの子どもたちや、ウクライナの子どもたちへの寄付ができるお金をたくさん集めることができ、とても良いことをしたなと思いました。早くウクライナの戦争がなくなって、本来のウクライナに戻ってほしいなと思いました。



ボランティアランナーが一致団結して、ネパールの子どもたちやウクライナの子どもたちのために走る姿が輝いていました。私たち高校生の団結力は、素晴らしいものだと感じました。

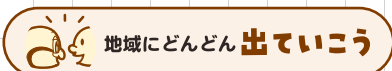


▶ 学校紹介

色彩豊かな自然環境のもとでの系列(マリンアドベンチャーやアクティブIT等)授業は「やさしさ」と「たくましさ」そして、「前に進む力」を育み、生徒を「やる気」にします。岬高校では「気づき」を大切にしている授業、「不安」を見逃さない相談体制により、安心して学ぶことができます。令和元(2019)年度には通級指導教室を設置、令和2(2020)年度から高校生活に不安を感じる生徒への基礎的環境整備として10人程度の少人数のクラスも編成しています。



▶ 取組み紹介



5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

持続可能な未来に向けて ～岬高校ピリカ部～

岬高校ピリカ部(ピリカ:アイヌ語で“美しい”“きれいだ”“豊かだ”という意味)は大阪府唯一の自然海岸である長松海岸やせんなん里海公園の清掃活動をマリンスポーツの一環として行っています。流れつくゴミは海洋生物の死亡事故につながる海洋プラスチックや海外からのものなど様々な種類のものがあります。海外から流れついたゴミの言語について自分たちで調べたり、拾ったゴミを分別し、どんなゴミが多いか傾向をまとめたりするなど、新たな学びや発見につなげることができています。

また、活動報告をSNS上にアップロードすることで、活動を知った方々から「きれいにしてくれてありがとう」「気持ちよく散歩できるよ」など、感謝の言葉をいただくことが増え、生徒たちの励みになっています。普段の活動成果を発揮する場として令和4年7月に行われたスポGOMI甲子園2022大阪大会に出場し、岬高校が優勝しました。令和4年12月には東京での全国大会に大阪代表として出場しました。

最近は地域の放課後等デイサービスの子もたちと一緒に活動することで、さらに若い世代へ取組みを継承するなど、活動の幅を広げています。私たちの活動が持続可能な未来を築くと信じて、今後も活動していきます。



ピリカ部では後輩や体験に来てくださる方たちと楽しく笑顔絶えず活動しています。私はピリカ部に入って本当によかったと思います。



ゴミがゼロになるためにいつも頑張っています。



SUP をするとき初めは不安ですが、慣れるとすんなりできます!気分がすっきり爽やかに楽しめます!

ピリカ部に入り普段できない体験ができ、友達とのかわりや、応援してもらえることの嬉しさも知りました。社会に出てもこの経験を活かして頑張ります。





© 2014 大阪府もずやん

こころの再生

🔍 検索

スマホはこちらから
アクセスできます▶



OSAKA, KANSAI, JAPAN

EXPO
2025



大阪府・大阪府教育委員会

「こころの再生」府民運動・企画運営委員会事務局
(大阪府教育庁教育総務企画課広報・議事グループ)

TEL 06-6941-0351 (内線 5469)